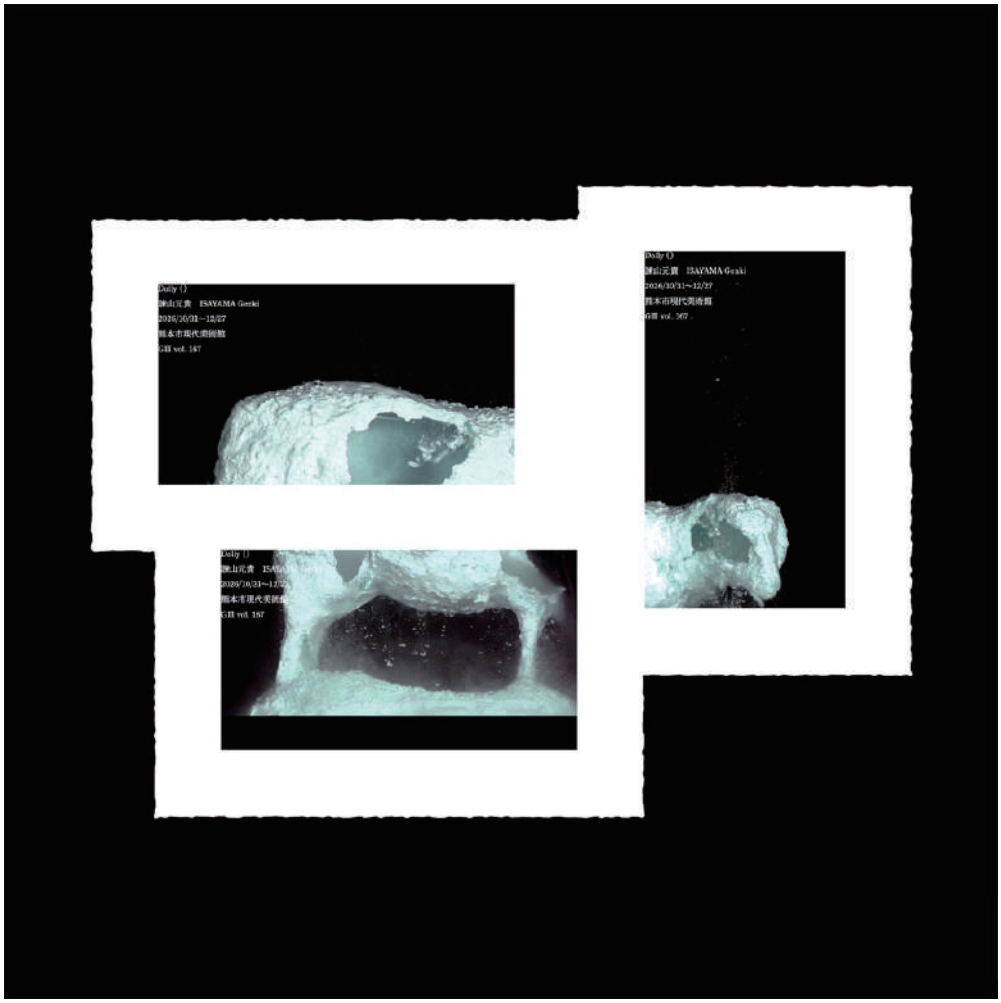
GIII-Vol.167　Dolly ( )　諫山元貴



九州ゆかりの美術家を紹介する熊本市現代美術館のギャラリーIIIにて、大分出身の諫山元貴（1987 年～／広島在住）の個展を開催します。

諫山はこれまで「複製と崩壊」というテーマを軸に、現代社会の合理化がもたらす大量生産・規格化・交換可能性を、映像や立体作品によって批評してきました。型を用いて複製された土の物体が水の中で崩壊していく映像作品では、その制御できない変化の様子を、速度無編集で提示しています。衰えや崩壊、そこに付帯する時間に、オリジナリティの在り処を見出せるのではないか――。

諫山のこの問いは、やがて生命とモノとの間に位置する“羊のドリー”へと導かれました。ドリーは、1996 年イギリスで、世界で初めて成体細胞を用いて生まれたクローンの哺乳類です。ドリーを生んだ技術は倫理的な問題を孕みながらも、その後の再生医療の発展といった扉を開け、希望ももたらしています。誕生から 30 年という節目に、本展はドリーを題材とした作品を通して、生命の複製技術と物象化、その倫理的・社会的意味について再考する場をめざします。静かに崩れゆく諫山のドリーのむこうに、私たちは何を見ることができるのでしょうか。

1996 年 7 月 5 日、クローン羊ドリーがスコットランドのロスリン研究所で誕生してから、今年で 30 周年を迎える。当時、私は手塚治虫の『火の鳥―生命編』（1980 年）を読んでいた。この作品はクローン人間を主題のひとつとして扱っている。今でも、いや、今だからこそ、そこに描かれた人間の「モノ化」―人間が mono として、あるいはひとつの Object として扱われること―に、トラウマのような恐怖を覚える。
ドリーの誕生をめぐっては、それを生み出した、あるいは生み出そうとする技術に対して、何らかの倫理が求められると考えている。しかし、生まれてきた存在そのものに罪はない。
だからこそ、ドリーには素直に「おめでとう」と言いたい。

諫山元貴

プロフィール

諫山元貴（いさやま・げんき）
1987 年生まれ。美術家。2014 年吉野石膏美術振興財団在外研修助成にてベルリンに滞在、Studio Haegue Yang のレジデンスプログラムに参加。主な展覧会に、「コレクション展 2025- II」（特別出品含む）/「諫山元貴：ものの次第」（ 広島市現代美術館、2025）、「Dolly」（hakari contemporary、京都、2024、キュレーター：鵜尾佳奈）、「MOMAS コレクションIII期 (特別出品) 」(埼玉県立近代美術館、2023) 、「Each Day Begins with the Sun Rising」（Benton Museum of Art Pomona College、カリフォルニア、2022）、「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.11」(高松市美術館、香川、2022)、「テレポーティング・ランドスケープ」（アートギャラリーミヤウチ、広島、2017）、「Sights and Sounds: Japan」（ユダヤ博物館、ニューヨーク、2016）、など。主な作品収蔵先に広島市現代美術館、ポモナ大学付属ベントン美術館、高松市美術館などがある。主な受賞に「VOCA 展 2025」奨励賞、「第 2 回広島文化新人賞」（2021）。

開催概要

会期　：2026 年 10 月 31 日（土）～ 2026 年 12 月 27 日（日）
時間　：10:00 ～ 20:00
休館日：火曜日（ただし 11 月 3 日は開館）、11 月 4 日
会場　：熊本市現代美術館 ギャラリー III＋井手宣通記念ギャラリー　[入場無料]
主催　：熊本市現代美術館（熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団）
協力　：hakari contemporary（株式会社基住）、アートギャラリーミヤウチ

関連イベント

1

アーティストトーク

日時　：10 月 31 日（土）13:30 〜 14:30
場所　：ギャラリー III＋井手宣通記念ギャラリー
参加費：無料

2

トークイベント

日時　：11 月 23 日（月祝）13:30 〜 15:00
場所　：ホームギャラリー
登壇　：諫山元貴
　　清水知子（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授）
参加費：無料

＊上記イベントは参加無料・予約不要。
＊会期中のイベントの最新情報・詳細は美術館 HP（camk.jp）にて

広報用画像

広報用画像をご希望の方は下記内容をメールでお知らせください。
広報担当からご連絡いたします。
① 掲載媒体
② 希望画像 No.
③ ご担当者様のお名前、ご連絡先 (メールアドレス等)

[お申込み] E-mail：gamadas@camk.or.jp

1.



2.



3.



4.



5.



6.



画像キャプション

1.《Molding(Dolly)》2024年　粘土　hakari contemporary 蔵
2.《Mold(Dolly)》2024年　レジン　協力：スコットランド国立博物館　hakari contemporary 蔵
3.《Dummy-Z4Qghq》2024年　粘土
4. 本展チラシ Graphic Design｜Jujiro Maki
5.《Dolly》2024年　ヴィデオ　協力：スコットランド国立博物館　hakari contemporary 蔵
6.「Dummy」シリーズ展示風景　（hakari contemporary、2024年）

交通アクセス

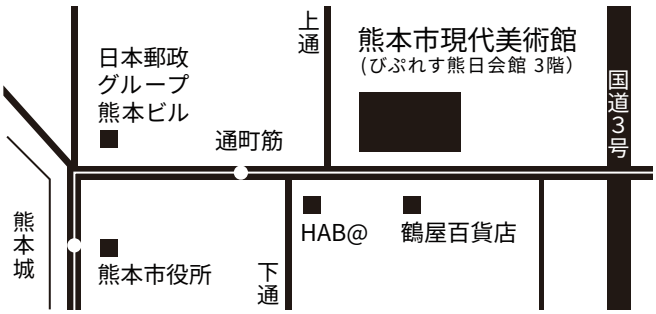
「通町筋」電停・バス停で下車、目の前

ＪＲ熊本駅から｜市電またはバス（約 15 分）

ＪＲ新水前寺駅から｜市電またはバス（約 10 分）

阿蘇くまもと空港から｜空港バス（約 40 分）

＊美術館専用の駐車場はございません。びぷれす熊日会館
駐車場（有料）や周辺のコインパーキングをご利用ください。



お問い合わせ

熊本市現代美術館　〒860-0845 熊本市中央区上通町 2－3 びぷれす熊日会館 3 F
担当：岩﨑美千子、穴瀬聖
TEL: 096-278-7500　Mail: gamadas@camk.or.jp　www.camk.jp